



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第38号
2017年11月

【ご挨拶】

皆様の、日頃からのご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。
議員活動を市民皆様に御報告する事で、少しでも開かれた政治にしていきたい。皆様と力を合わせて「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷を実現していきたい！
そうした思いで、「市政レポート」を発行して参ります。

この市政レポートは私の分身です。毎号ファイルに綴って読んでもらっている子は幸せ者で、そのままポイされている子は涙を流しているかもしれません。

皆さんにお願いします。どうぞ、この子を可愛がってあげてください。

【議会報告】

深谷市議会 平成29年度 第3回定例会 9月議会が終了しました。

主な議案

- ・平成28年度 一般会計歳入歳出決算に認定（認定）
- ・平成28年度 水道事業会計決算認定（認定）
- ・学校設置条例の一部を改正する条例（可決）
- ・自転車の安全な利用の促進に関する条例（可決）
- ・平成29年度一般会計補正予算〈第2号〉（可決）

（他、市長提出議案11件）

平成28年度 一般会計決算の概要

一般会計の収入済額は約514億1,590万円、一方、支出済額は約471億4,526万円、差引残額は約42億7,064万円、国民健康保険などの特別会計収入済額は約218億1,521万円、支出済額を差し引いた残額は約2億9,141万円、尚、実質収支額（純余剰金）は、約38億9,814万円で翌年度に繰り越されました。（図1参照）

収入は、前年に比べ約49億1,990万円減りました。これは、地方交付税や国庫支出金、県支出金が減額されたのが原因ですが、

市税は約5億9,433万円伸びました。（図2参照）

支出の方は、収入が大幅に減るのではと予想されたことから、抑え気味な予算編成でしたので、結果的には大きな金額を翌年に繰り越すことが出来ました。また、農林水産業費が大きく減ったのは、雪害によるビニールハウス再建築に対する補助事業が、平成27年度に終了したためであり、通常に戻ったということです。

清水の私見



今後、地方交付税や県からの補助金が増える要素はありません、一方、支出の方は福祉関係の経費である民生費の増加が予想されます。これからは、無駄な経費を削減して、更に自主財源を増やしていくことが必要です。

（仮称）花園アウトレットモールの推進状況！

平成30年10月の開業を目指して進められている秩父鉄道の新駅（ふかや花園駅）は、工事が進みプラットホームの形ができ、駅ロータリーの工事が進められております。

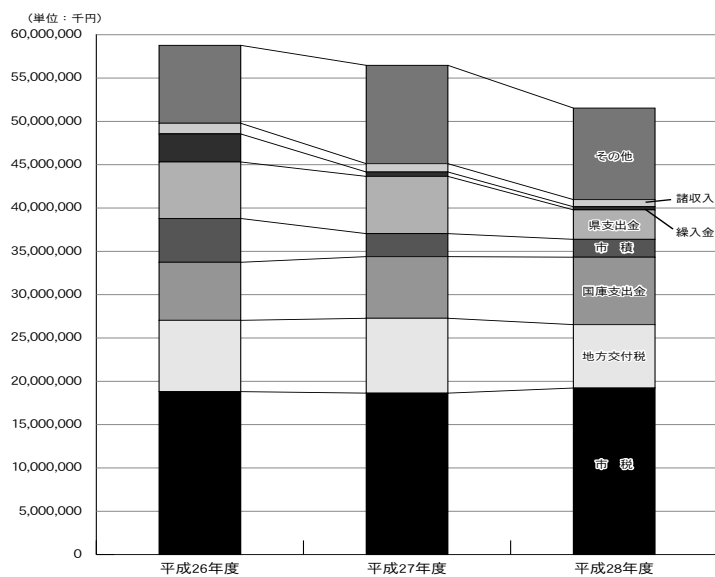


▲新駅ロータリー工事



▲プラットフォーム

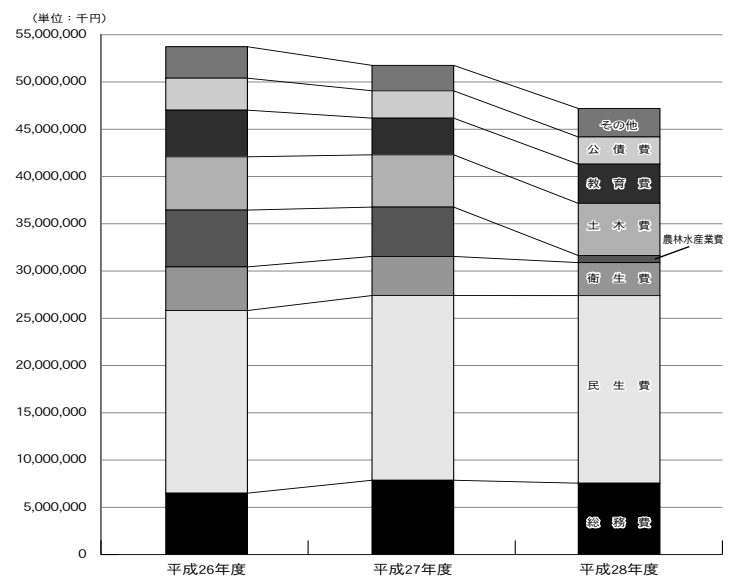
図1 一般会計 歳入の推移



款	平成26年度	構成比	平成27年度	構成比	平成28年度	構成比
市 税	18,737,536	32.0%	18,599,188	33.0%	19,192,621	37.3%
地方交付税	8,229,012	14.0%	8,598,898	15.3%	7,312,674	14.2%
国庫支出金	6,674,851	11.4%	7,097,101	12.6%	7,767,806	15.1%
市 債	5,047,500	8.6%	2,650,500	4.7%	2,057,500	4.0%
県支出金	6,482,828	11.1%	6,598,137	11.7%	3,374,597	6.6%
繰入金	3,238,514	5.5%	485,374	0.9%	365,808	0.7%
諸収入	1,212,695	2.1%	975,822	1.7%	830,776	1.6%
その他	9,014,476	15.3%	11,330,780	20.1%	10,514,117	10.5%
合計	58,637,412	100.0%	56,335,800	100.0%	51,415,899	100.0%

○構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

図2 一般会計 歳出の推移



款	平成26年度	構成比	平成27年度	構成比	平成28年度	構成比
総務費	6,446,393	12.0%	7,785,255	15.1%	7,511,361	15.9%
民生費	19,326,885	36.0%	19,552,621	37.8%	19,825,692	42.1%
衛生費	4,637,856	8.6%	4,109,204	8.0%	3,505,587	7.4%
農林水産業費	5,994,269	11.2%	5,227,987	10.1%	755,180	1.6%
土木費	5,652,855	10.5%	5,541,188	10.7%	5,533,298	11.7%
教育費	4,942,232	9.2%	3,891,570	7.5%	4,125,477	8.8%
公債費	3,402,652	6.3%	2,885,821	5.6%	2,865,612	6.1%
その他	3,271,063	6.2%	2,708,116	5.2%	3,023,052	6.4%
合計	53,674,205	100.0%	51,701,762	100.0%	47,145,259	100.0%

○構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

9月20日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「天下の事を制する者は、
事の外に立ち、
事のうちに屈せず」

義理合一、至誠惻怛(しせいそくだつ)の思想を唱え、我郷土の偉人「洪澤栄一翁」をはじめ、日本の財界に大きな影響を与えた、「山田方谷氏」の言葉です。胸に刻んで、精進して参ります。

議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問を行ないます。

《公共施設のマネジメントについて》

質問1 “小中学校の水道料金について”

平成26年、28年に引続き3度目の質問です。市内小中学校の水道料金に大きな差がありましたが、改善したのか伺います。

答弁 小中学校の水道料金の差につきましては、学校施設の規模や使用の状況等により異なることから一概に比較できるものではありませんが、小中学校全体で平成27年度と平成28年度を比較しますと、約550万円の削減が行えたところです。

再質問 学校施設の規模や使用状況という話ですが、私は26年度から調査を開始して指摘させていただいておりますが、例えば、幡羅小学校は児童数が534名で給食場があり、27年度は水道料金、約438万円で、同じく給食場があり、児童数616名の上柴西小学校は、約217万円です。221万円と倍以上の差があるのに、一概に比較できないというのはおかしいですね！先程、全体で約550万円削減できたとの事ですが、幡羅小学校は改善したのか再度質問します。

再答弁 幡羅小学校は、調査費を含め約44万円をかけて漏水工事を行ない約209万円の水道料金が削減されました。

再々質問 私の調査では、幡羅小学校のほかにも、桜ヶ丘小学校や豊里小学校、そして上柴中学校も、同規模校に比べると異常な金額になっているが、漏水工事の予定を聞かせて下さい。

再々答弁 桜ヶ丘小学校と豊里小学校は28年度に工事が完了しまして、深谷中学校は今年度に工事をいたします。

質問2 “設備機器の保証契約について”

平成26年度に完成した花園公民館のエアコンが故障して、高額な修理費が掛かるようですが、各施設に導入されている設備機器の保証契約はどのようになっているのか伺います。

答弁 花園公民館のエアコンは、8月半ばに室外機のメインコンプレッサーが起動不良となり一時止まってしまうような状況でしたが、現在はサブコンプレッサーを動かして利用しております。使用開始から3年という短い期間での故障ですが、メーカーの保障期間は1年となっております。修理には約50万円掛かる模様です。

再質問 最近では、電気量販店などで5年や7年などの長期保証を付けているが、そうした契約が出来ないのか伺います。

再答弁 長期保証契約やリース契約などを含めて、今後、調査研究して参ります。

質問3 “メガソーラーの管理について”

浄化センターに設置されています、15メガワットの太陽光発電ですが、年間収入の推移と管理費について伺います。

答弁 浄化センターのメガソーラーは平成26年9月に設置され、28年度までの売電収入は約1億9,846万円となっております。年間の保守管理費は、622万円であります。

再質問 太陽光発電は3つのことをすると発電量が20%～30%ほど増えると言われております。1つ目は、パネルを冷やすために散水をする。2つ目は、パネルの汚れを防止するために防汚コー

ティングを施す。3つ目は、パネルの下に反射板を敷きつめる、というものです。そうすることにより約2億円の収入が4千万円以上増えると思われませんが、検討しているのか伺います。

再答弁 確かに、3つの施策を行うと売電量が増えるというのは承知しておりますが、既に設置されている状態でありまして、今後、大規模改修工事などを行なう場合に検討させていただきます。

再々質問 太陽光発電設備で大規模改修などというのは聞いたことがありません。3つの施策は難しいというなら、散水などは金額も掛からないし、すぐにでも実施できると思いますが、いかがですか？

再々答弁 ご指摘を踏まえて、早急に調査研究して参ります。



▲メガソーラー概要

《深谷市のイメージアップについて》

質問1 “市関連企業との連携について”

去る8月9日「暑さ対策・日本一」を掲げる熊谷市と、深谷市に工場がある「株リクシル」との協働で「室内熱中症対策 強化宣言式」が開催されました。これはリクシルが販売をしている「特殊な生地を使用したスタイルシェード」という日除けを、熊谷市内の保育所や子育て支援施設など9施設に無料で設置して、室温の変化や子どもたちへの影響などを調べる実証実験を始め、子どもたちの熱中症予防を図り、保護者の方々だけではなく、広く市民の方々にも啓発を行っていく事で室内熱中症対策を強化し、一人でも多くの方を熱中症から守っていくと宣言され、マスコミでも大きく取上げられました。市のイメージアップに、とても良いことだと思いますが、深谷市では、市内企業或いは関連企業に、何かアプローチを行っているのか伺います。

答弁 深谷市に工場がある「リクシル」なので、少し残念な気がしましたが、今回は「リクシル側」から暑さ対策で全国的に有名な熊谷市に申し入れがあったようです。ご質問の市内企業や関連企業へのアプローチに関してですが、商工団体などと「もの作り博覧会」や「えん旅」などの事業を連携して実施しています。

再質問 市内には、物凄く頑張っている商店や中小企業が沢山あります。例えば、凸版印刷(株)ではA Iロボットや教育関連ソフトの開発に力を入れ注目されております。子どもたちの学力向上には、タブレットを利用した「やるKey」学習システム、先生方の労働時間短縮には「マナレコ」校務支援システムが有名です。教育立市を掲げる深谷市ですから、是非、連携するべきと考えますが、いかがですか。

再答弁 市内企業や関連企業の情報収集に努め、積極的に連携が出来るよう調査研究して参ります。

【質問を終えて】

市内小中学校の水道料金に関しては、私が調査を開始した平成26年度が小学校19校、中学校10校、合計で約5千万円、27年度が約4,870万円と約130万円削減されました。そして28年度は4,320万円と、更に前年に比べ、約550万円削減され、平成26年度対比で約685万円も削減されました。その他、設備機器の保証契約の見直しなども行うことで市全体の経費が削減され、メガソーラーなどの太陽光発電に関しても、更に発電量が増える努力を継続して行い、市内企業と連携して実証実験などにも積極的に取り組むことで、市のイメージアップを図っていく必要性に関して提言させていただきました。

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ：http://www.shimizu-kenichi.jp(ブログ公開中)

E-mail：info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

- 昭和36年1月27日生まれ(56才)
- 家族構成 妻、長男、長男妻、長女、次女、孫2人(8人家族)
- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ふかや市商工会 理事
- 深谷市議会 副議長

このレポートは、今、問題になっている「政務活動費」を使わず清水個人の自費で発行しております。